



ID: 1370

科目名	インターンシップ【26年度生用】			コード			
英語表記	Innternship						
担当教員名	李 文相			年度	平成26年度		
基準年次	3年次	開講期	後期	単位数	2		
授業形態	実習	授業形式	講義&実習	履修形態	選択		
授業概要							
<p>一般社会で自分の専攻分野を生かし、あるいは自分に適した職業を選ぶための就業体験をする。そのため、まず、事前の実習指導を受け、その中で職業意識の喚起や日常マナーなどを教室で習得する。実習先が確保されると先に業務内容をリサーチする。手続きを終えてから5日間(40時間)の実習を行う。実習内容は日誌にまとめる。実習終了後に報告書の作成、及び報告会を行う。</p>							
到達目標							
<p>就業体験を通じて実際の企業を内側から実感することで、企業の現実的要請を理解し、職業選択の参考にする。</p>							
授業計画							
第1回	「事前説明会」 受け入れ先、業務内容、受け入れ人数等を発表する。						
第2回	「オリエンテーション」 職業意識の喚起、日常マナーの習得、実習先の業務内容を知る。						
第3回	「実習計画」 実習の計画書を作成する。日誌作成についても要領を学ぶ。						
第4回	「研修」(実習) 5日間(40時間)の実習開始						
第5回	「研修」(実習) 実習と日誌の作成						
第6回	「研修」(実習) 実習と日誌の作成						
第7回	「研修」(実習) 実習と日誌の作成						
第8回	「研修」(実習) 実習と日誌の作成						
第9回	「研修」(実習) 実習と日誌の作成						
第10回	「研修」(実習) 実習と日誌の作成						
第11回	「研修」(実習) 実習と日誌の作成						
第12回	「研修」(実習) 実習と日誌の作成						
第13回	「実習事後指導」 報告書の作成						
第14回	実習事後指導 報告書の作成と実習先へのお礼状発送						
第15回	「報告会」						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
事前指導時の計画書(20%)、実習日誌(50%)、実習後の報告書(30%)			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
授業外学習			テキスト、教材				
実習前に、受け入れ先の業務内容について十分に把握しておくこと。			別途配布				
参考書			受講生へのメッセージ				
ウイリアムG. ブルーグマン著、水谷みずほ、工藤聖子訳『インターンシップの実習法』トムソン ラーニング			就業体験を通じて、企業を内側から知ることができ、そして自分の適応力も知ることができるでしょう。この気付きと学びが社会に出てからの貴重な経験になると思います。				
キーワード							
職業意識、実習計画、就業体験、就業日誌、実習報告							